

令和3年度第1回越谷市スポーツ推進審議会会議録

- 1 期 日 令和4年3月8日(火) ※書面開催のため意見書提出期限が開催日
- 2 会 場 教育委員会 教育総務部スポーツ振興課
- 3 出席委員 18名 ※意見書の提出をもって出席とする。

佐藤委員、八十島委員、菊池委員、新坂委員、林委員、中井委員、田中委員、須賀委員、高橋委員、関口委員、大沢委員、菊島委員、村井委員、井手委員、倉田委員、高橋委員、榎本委員、戸田委員

会 議 次 第(書面開催)
1 議事 報告事項 (1) 令和3年度教育行政重点施策について (2) 令和2年度越谷市立屋内・屋外体育施設の利用状況について (3) 令和2年度教育委員会の事務に関する点検評価について (4) 令和4年度当初予算(案)について

意見について

(1)令和3年度教育行政重点施策について

- 委員 「施策の方向1」について、新型コロナウイルス感染拡大の中でも実施可能な事業を工夫したと考える。「大きな声を出さない」「呼吸が大きくなならない」といった運動を選んでの企画と推察する。これらの運動はそもそもニーズが少ないことから、通常期では「集客」という観点からは実績を上げることは難しい企画かもしれない。しかし、「日頃、運動やスポーツと疎遠な方」として運動やスポーツに近づきやすい企画です。近い将来、コロナ禍が収まった後もこういった運動・教室を継続してほしいと考える。
- 委員 「施策の方向 2」について、新型コロナウイルス感染拡大の中、「派遣数」が減少していることは仕方ない。「登録者数」が漸増していることは、「運動やスポーツの機会を提供したい」と考えている方々の意欲には(コロナ禍による)変化はないものと推察する。コロナ禍が収まった後、こういった方々のニーズ(「他者に運動やスポーツの機会を提供したい」というニーズ)に応えるような企画を考える必要がある。登録者に「派遣依頼」を待っていただくだけでなく、何か事業を企画してもらうことも一案かと考える。
- 委員 新型コロナウイルスの影響もあり、実施困難な取り組みも多かったでしょうが、市公式YouTubeにて健康体操教室や生涯スポーツ講座等の動画配信をするなど工夫され実施され

ております。引き続き工夫され重点施策への取り組みをお願いします。

○委員

教室に携わった身としては毎年たくさんの方に参加していただきまずは感謝したい。教室の参加申込みが抽選になることから市民の健康への関心が深いことがわかる。コロナ禍における不安などから思い通りに日常を過ごせないストレスなどが教室への参加により少しでも解消できるといいなと思う。今年度は、イオンレイクタウンにおいてイベントや生涯スポーツ講座を開催し、越谷市民だけではなく市外からも参加者を募れたことで越谷市のスポーツ推進への取り組みが広まることにつながると思う。

○委員

<スポーツ教室等の学習機会の提供>

自身が動画を提供したことから、動画・教室の動画配信について評価している。また、勉強になった。コロナ禍で外出ができず、運動不足の方々には有効活用され感謝された。しかし、スマホやPCが使えない方(70歳以上の方)には、視聴されなかった。

動画作成は、令和2年度のみで今年度と動画再生回数が増えていなかったことから、動画のPRの仕方など検討していくことが必要であると感じた。個人的には、動画配信の効果的な方法等を研鑽しなくてはいけないと思った。(時間が10分くらいで短く興味深く継続してもらえる内容)

動画配信は、コロナ禍や情報化が進む現代において有効的なものと考えているが、配信して終わりではなく、検証が必要と考える。

<高齢者の健康づくりの支援>

介護施設等の出前講座はコロナ禍で開催中止となった。以前行ったシニアボランティアと共に参加したライブでの交流は双方とも元気で楽しい有意義なものだった。涙を流して感謝されるときもあるほどである。介護施設では、認知症の人や半身不随で車イスを使用している人々なので全員イスに座っての体操をする。介護士のサポートもあり安心安全に指導ができる。感染防止対策ができない場合は、動画配信も可能かと思われる。大きなテレビを見ながら対面式で指導できれば施設側も利用者側にとっても有効と考える。

<障がい者の健康づくりの支援>

コロナ禍での中止はやむを得ずと考える。以前から提言しているが、参加者を増加させるためには障がい者と健常者を分け隔てなく誰もが参加できるパラスポーツ種目(卓球バレー、ボッチャ)を教室として開催すべき。

▽事務局

市公式 YouTube による動画配信は、自宅でも気軽に運動(ヨガ、エアロビクス、キックボクシングエクササイズ、健康体操教室など)を楽しむために令和2年度より配信してまいりました。令和4年度もさらに老若男女誰もが楽しめる種目を増やし、どのような動画が市民に好まれているかなど調査等を行い、配信数も増加させてまいりたいと思います。また、高齢者や障がい者のスポーツ教室についても誰もが参加しやすいものを企画し、開催していきたいと思います。

(2)令和2年度越谷市立屋内・屋外体育施設の利用状況について

○委員

新型コロナウイルス感染拡大による「大幅減」はいたしかたがないと考える。施設や用具器具は使わないとダメになる部分もあります。その点での保守管理にもご留意ください。

○委員 コロナウイルス感染症の影響で利用者数が減少しているが、感染対策を万全にし、休館日ができるだけ最少にできるよう検討してください。

▽事務局 施設・使用頻度の少ない器具については、安全・安心に利用できるよう引き続き保守管理を充分にしていきたいと思います。

(3) 令和2年度教育委員会の事務に関する点検評価について

○委員 新型コロナウイルス感染拡大の中、各事業の実施は非常に困難であったと思います。目標に達しないことはもちろん過去に比して大幅に実績を下げることは、この社会情勢では致し方ないことと思います。その点で昨年度の事業に対する自己点検は自らを厳しく評価したように感じる。B、B+とした評価については、通常期であればそれ以上の自己点検評価になったかと推察します。

(4) 令和4年度当初予算(案)について

○委員 現状は「適正な振興政策」が執られており、それを踏襲するための事業計画と予算と考えます。個人の活動を創出する支援をすることが重要と考える。したがって、計画のとおり教室や講座を開催することやそれらを動画配信することは有益と考える。

その他の意見

○委員 コロナ禍で多くのスポーツ関連事業が中止になってしまったのは残念ですが、仕方ないことであつたと思う。その中で YouTube により個々の事情に合わせやすく運動の機会を提供するという新たな試みはとても良かった。ただそのことの周知がどれくらい進んでいたかという点で周囲を見るか限り十分か疑問である。また、動画配信の利用になじみがないと思われる世代に向けて利用しやすい手段としてテレビ広報番組でも配信するなどより簡単に手軽に活用できる方法の工夫があればいいのではないと思う。

○委員 オリパラの開催で障がい者スポーツへの興味や理解が高まっているこの機会を活かし、ユニバーサルスポーツを市民体育祭の種目に取り入れたり、既存の種目のルールを工夫しアダプテッドスポーツにするなど、障がい者や小さな子供から高齢者まで誰もが一緒にスポレクの場を共有し楽しめる機会の設定も期待したい。

○委員 施設の利用についてサークルや競技団体に所属している方や個人でも日常的に運動をする習慣のある方は教室に参加するなどにより使用する機会が比較的多いと思われ稼働率も一定あるが、一部の市民に限られているともいえる。今後、コロナの状況を見る必要があるが、運動習慣のない方でも気軽に参加しやすい軽スポーツの体験会などの企画も複数、通年で定期的であれば予定に合わせやすいのではないかと思う。

▽事務局 コロナ禍で運動・教室の動画配信に対する期待は、大いにあるかと思えます。より市民が手軽

に情報を得ることができるよう令和4年度は調査・研究をしていきたいと思ひます。また、今年度、東京オリンピック・パラリンピックが開催されたことにより、市民の方々が様々なスポーツに触れる機会があったことと思ひます。そこで、スポーツ教室やその他イベント時にアンケートなどを用い、市民の方々がどのようなスポーツを求めているか調査をし、その声を反映できるよう市民体育祭会議等で発案していきたいと思ひます。

○委員 越谷アルファーズの総合体育館の現在の使用状況を見ると市内の各スポレク団体や一般団体の予約が厳しい状況である。多少でも土日開催を少なくし、祝日や平日開催にしてほしい。

▽事務局 試合の開催日については、今後アルファーズと協議してまいりたいと思ひます。